

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	心理演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	前田純子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 企業や福祉サービスなどの現場において心理的な支援とは何かを多面的に学びます。本科目はさまざまな分野での専門職である複数の講師が担当いたします。講師一同、傾聴、共感をベースにして学生と向き合い、学生が気づきを得て成長できるように見守り、指導してく所存です。授業では対人関係に必要なコミュニケーションをグループワークを通して学習して行きます。						
《成績評価の方法と基準》 試験素点 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 関連資料を配布致します。						
《授業外における学習方法》 授業で配布されたレジュメや資料を参考に、復習として振り返り、できれば文章化してください。疑問や質問、印象に残ったことがあれば、次の授業の時に講師へ伝えてもらえると、より深い学びとなるでしょう。						
《履修に当たっての留意点》 心理的な支援の現場において、支援者の一言で相手の話が深まるかどうか大きく左右されます。授業を通して、そのセンスを磨く意識を持っていただければと思います。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	用語を述べることができる		資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える
		各コマにおける授業予定	「交流分析の理解と実践①」自己と他者との交流パターン(人間関係)に着目することで、人間関係の改善や、自律的な生き方・自己実現 について学ぶ。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	自我状態を説明できる		資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える
		各コマにおける授業予定	「交流分析の理解と実践②自我状態」エゴグラムで、親、成人、子供の3つの自我状態を分析し、自分の思考や行動の特徴を把握する。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭療法の教示ができる		資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「箱庭療法①」砂の入った箱の中に、人、動植物、乗り物、建物等のミニチュアを置き、何かを表現したり遊んだりして砂と親しむ			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭作品の印象を述べることができる		資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「箱庭療法②」実際に、ひとりひとりが 箱庭を置き、周りのみんながそれについて感想を述べ合う。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	肯定的なフィードバックができる		資料配布。	講義をどうして、感じたことを疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アドラー心理学＋ポジティブ心理学 ①」他者を肯定的にカウンセリングサポートしていく技法を習得する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	より良い対話パターンを例示できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「交流分析の理解と実践 ③対話分析」対話のパターンを理解し、自分自身の対話パターンを分析する。グループワークを通じて、より良い対話のパターンを考える。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	肯定的ストロークを示すことができる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「交流分析の理解と実践 ④ ストローク」ストロークは「他者との関わり」のことをいい、肯定的ストロークと否定的ストロークの2種類がある。グループワークによって、自分のストローク授受の改善法を考える。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭作品の印象を言語化できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「箱庭療法③」実際にひとりひとりが箱庭を置いて、周りのみんながそれを見て感想を述べ合う。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭作品の印象を言語化できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「箱庭療法④」実際にひとりひとりが箱庭を置いて、周りのみんながそれを見て感想を述べ合う。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワークの中で肯定的なカウンセリングのサポートの仕方を実施することができる	資料配布。	講義をどうして感じたことで、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アドラー心理学＋ポジティブ心理学 ②」他者を肯定的にカウンセリングサポートして行く技法を習得する。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	アドラー心理学に基づくカウンセリング技法を模倣できる	資料配布。	講義をどうして、感じたことを疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アドラー心理学＋ポジティブ心理学 ③勇気」づけをテーマに、アドラー心理学とポジティブ心理学を統合したカウンセリング技術をワークをどうして学ぶ。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	精油の種類を列挙できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アロマテラピー講座①心と体」植物療法の中のアロマテラピーを学ぶ。歴史、メカニズム、精油について。精油の選び方、楽しみ方、注意点等。実習：アロマハンドクリーム作り。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	アロマの作用を説明できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アロマテラピー講座②心身への働きを知る」精油が脳・解剖生理学へ作用する経緯・ルートを学ぶ。実習：アロマシャンプー作り		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	精油の効果を説明できる	資料配布。	講義をどうして、疑問に思ったこと、感じたことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アロマテラピー講座③ メディカルハーブを知る」薬草を使ったもう一つの植物療法を学ぶ。グループワークで 講師オリジナルブレンドのハーブティーを飲み、感想や気づきを話し合う。実習：アロマ入浴剤作り。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	色の心理的特徴を例示できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「カラーカード 連想ワーク ① ナラティブセラピー」カラーカードワークと被験者と支援者の両面から体現し、自己探索とともに傾聴の基本的態度を学ぶ。色の持つ力、記憶と感情の関係、ナラティブセラピーについて理解する。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワークの方法を实践できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「カラーカード連想ワーク ② ナラティブセミナー実習編」チームごとにテーマに合わせたカラーカードを選ぶ。色を通して言語化することで自己探索を行うと共に、シェアリングで感情の共有、更なる感動と意味の再構築を導く。		
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	色の機能を説明できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「色彩心理 ① 色の機能的役割と感性的役割」色には、人の感情を動かす力があることを感じる。色の機能的役割と感情的な役割について、具体的な事例をどうして理解する。		
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	色と感情の関係を例示できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「色彩心理 ② 色の機能的役割と感性的役割」色には、人の感情を動かす力があることを感じる。色の機能的役割と感情的な役割について、具体的な事例をどうして理解する。		
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	気持ちを色で表現できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「色彩心理 ③ 実習編」常にある感覚について、各自がカラーカードで配色をつくり、イメージと色を結びつけると共にさらにイメージを膨らます。		
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	交流分析のゲームと脚本を説明できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「交流分析の理解と実践 ⑤ 自分の生き癖に気づく」チェックリストを使って自分を苦しめる生き癖に気づく。グルーワークを通じて、改善方法を考察する。		
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	箱庭作品の分析方法を例示できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「箱庭療法⑥」箱庭療法の理論を学び、実際に自分たちの置いた箱庭を分析してみる。		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	他者の箱庭作品を分析できる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「箱庭療法⑦」箱庭療法の理論を学び、実際に自分たちの置いた箱庭を分析してみる。		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	カウンセリング技術を説明できる	資料配布。	講義をどうして、感じたことを 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アドラー心理学＋ポジティブ心理学 ④」勇気づけをテーマに、アドラー心理学とポジティブ心理学を統合したカウンセリング技術をワークをどうして学ぶ。		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	キャリアコンサルタントの論述問題を読んで理解し、解くことができる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 考えたことを疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「キャリア相談の実践①」キャリアコンサルタントの 論述問題を題材にグルーワークを实践する。伝え返し的重要性を知り実践できるようになる。キャリア相談における見立てのポイントを身につけ、論述問題を解けるようになる。		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	アサーショントレーニングの技法をワークの中で実施することができる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、 疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「キャリア相談の実践②」他者の話に耳を傾けることができるようになる。他者を否定することなく自分の思いや考えを主張することができるようになる。コンセンサスワークを通して傾聴とアサーションを実践し、自己理解を深める。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	カウンセリング技術をワークの中で実施することができる	資料配布。	講義をどうして、感じたことを疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「アドラー心理学 + ポジティブ心理学 ④」勇気づけをテーマに、アドラー心理学とポジティブ心理学を統合したカウンセリング技術をワークをどうして学ぶ。		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	キャリアコンサルタント試験の問題を読んで理解し、解くことができる。	資料配布。	講義をどうして感じたこと、考えたことを疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「キャリア相談の実践①」キャリアコンサルタントの 論述問題を題材にグループワークを実践する。伝え返しの重要性を知り実践できるようになる。キャリア相談における見立てのポイントを身につけ、論述問題を解けるようになる。		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワークの中でアサーションを実施することができる	資料配布。	講義をどうして感じたこと。疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「キャリア相談の実践③」他者の話に耳を傾けることができるようになる。他者を否定することなく自分の思いや考えを主張することができるようになる。コンセンサスワークを通して傾聴とアサーションを実践し、自己理解を深める。		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	ロールプレイを通して、カウンセリング技術を模倣することができる	資料配布。	講義をどうして感じたこと、疑問に思ったことを考える。
		各コマにおける授業予定	「キャリア相談の実践④」キャリアカウンセリングの過程を知り、就労支援を実践できるようになる。ロールプレイを実施し、キャリア相談を疑似体験する。		
第30回		授業を通じての到達目標	用語や意味をアウトプットできる	資料配布。	全ての授業資料を通読しておく。
		各コマにおける授業予定	まとめと振り返りの試験を実施する。		
第31回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第32回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第33回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第34回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第35回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			